

檜の木だより

2019 4/1
第95号

ひとりひとりひかる

き ぼ う

発行：檜の木福祉会（法人本部）
かしの木の会

一宮市富田字砂原 2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

檜の木福祉会 ホームページ

[http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



かしの木の里の皆さんの花見 (3月上旬/河津桜)

新年度のご挨拶

昨年度は、法改正による新しい社会福祉法人としての定着に取り組んできた一年でした。

この一年も決して平たんな道のりではありませんでした。支援員確保、新規利用者の確保、財政基盤の安定化等、多くの課題に取り組んで参りました。

新元号を迎える記念すべき本年度に、これらの課題を確実に乗り越えていく歩みを進めて参ります。

関係各位のご支援、ご協力を切にお願いいたします。



(福)檜の木福祉会 理事長 北川登

福祉社会コーナー

「新時代に花を咲かせよう」

あとわずかで、平成の時代が幕を閉じる。

昭和の時代に芽吹いた「かしの木」という苗木は、平成の時代に大きく成長した。措置制度の中を生き抜き、自立支援法、総合支援法にて枝葉を広げていった。新しい時代を迎えようとしている今、一つひとつの枝は、利用者のニーズに込められているかを検証していく必要がある。



私が檜の木福祉会に入職した時、当時の施設長から「施設は生きている。よくなるのも、悪くなるのも職員次第」と言われ、「施設のめざす方向は、利用者が決める」と教えられた。「利用者が、職員の先生である。利用者から学べ」とも・・・

平成の時代に入ってから、どのようなハンディキャップを持った方でも、利用していただけるようにと、いくつもの施設を作っていった。「檜の木作業所」をかわきりに、支援度が高い人のために、「檜の木園」を整備。就労を目指す方のために「ステップ」を、生活を支える施設入所支援として「かしの木の里」を整備してきた。その後、重症心身障害者支援として「らちえっと」の取組もスタートさせた。さらに、「かしの木サポートプラザ」を、そして一昨年は「らちえっと」という日中支援の事業所を開所してきた。これらの施設が横並びになり隙間をうめて、あらゆるニーズの方も受け止められるように工夫してきた。

平成18年の自立支援法の施行と同時に、相談支援が重要視され、「ゆんたく」が相談支援センターとして、「療育サポート」が発達障害児の相談事業として一宮市から委託された。「障害児等療育支援事業」が愛知県から、「就業・生活支援事業」が愛知県と労働局から委託された。これらの事業は、すべて一宮市や尾張西部圏域の色々な年齢層、障害種別・特性、ケースに応じた相談の仕事に応じている。

さらに、支援を生活の場や施設以外の場面に求める方には、「きーぷ」という居宅介護事業を、児童・生徒が学校を終えた時間帯を過ごす「そら豆キッズ」という名の放課後等デイサービスを整えた。

そして、地域移行の場である「GHC かしの木」というグループホームの事業を始め15ヶ所あるグループホームで64名の方を支援している。

日中活動の事業所では、生産活動に重きを置き、工賃を介在させて、有給の労働の場を提供してきた。その中でも、地域交流を図るために、3ヶ所の喫茶店、ベーカリー、園芸センター等の運営を行っている。また、生活を支える事業所では、地域の中で安心して暮らせる住まいの場を提供している。また、盆踊り大会やフェスティバルなどで地域交流の行事を実施している。

地域に暮らすハンディキャップを持った方にも、様々なニーズがある。その一つひとつに込められていることが、私たち職員の使命であると思っている。確かに、「かしの木」という大きな幹は、枝分かれして、小枝も増やしてきた。SMAPの歌にもあるように、いろんな花をつける準備は整っていると思われる。

しかし、今の各事業所の支援は、きちんと利用者の話を聞き、希望を聞いて、利用者の求めるサービスを届けることができているだろうか。職員の自己満足や、運営のやりやすさでサービスの押しつけはしていないだろうか。自己実現という「きれいな花」を咲かせているだろうか。

平成の時代が終わり、新しい元号が4月1日に発表されるが、初心に帰って、利用者の支援内容をもう一度チェックしていく必要がある。

幹を支える根にも、「知識や技能」という栄養を与えなければならない。そして、多くの枝や葉、花をささえる幹を太くしていく必要がある。故糸賀一雄さんが「この子らを世の光に！」と唱えた。その光にまっすぐに向かっていくような、「大樹」になっていく必要があると思う。

「大樹に花を咲かせよう！」花が咲かなくては当然、大きな「実」がならないはずだから。

福祉会事務局 只井秀明

「檜の木交流会」

ありがとうございました！

檜の木交流会の歴史は、意外に古いのです。

あの（この地域が未だ尾西市だった）頃は、市長さん、議長さん、県会さんをお迎えし、檜の木福祉会（役員、職員、保護者会役員）がおもてなししながら、相互に親睦を深めました。

当時は、市長さんが自ら徳利を手に持ち、全ての職員に正対しながらお猪口に熱燗を注がれました。

そして、「毎日ご苦勞様です、本当に尊いお仕事です。」と一人ひとりに必ず声をかけていただきました。

その頃新米職員の私は、非常に恐縮し緊張していたことを覚えています。

さて、本年度の交流会は、平成31年1月19日（土）午後6時00分に開会しました。

法人組織の拡大に比例し、交流会も年を追うごとに膨らみ、本年度も大勢の方（160人弱）にご参加いただきました。

まずは、我が法人代表者北川理事長の挨拶から始まり、長坂衆議院議員、岡本衆議院議員、岩村県議会議員、西脇市議会議員各位からご挨拶を頂戴しました。囑託医、他法人の代表者の皆さまにもお越しいただきました。



乾杯が終わると、普段お世話になっている(株)名古屋食糧さんの御馳走めがけ、箸や小皿がまるで生き物のように人の間隙かんげきを縫って滑っていきます。

アトラクションは、稲沢市を拠点に活躍されている「ビクトリア室内合唱团」の皆さまによるクラシック演奏（合唱）でした。

代表の榎戸えのきど先生は、北川理事長と「高校＝大学＝愛教大附属中学教官」各時代を共に過ごされた同級生だそうです。

日頃あまり生で聴くことができない上質なクラシック音楽を、皆さんにフォーマルな大人の雰囲気楽しんでいただこう、と企画しましたが、職員同士のコミュニケーションを深める、まさに職員交流会という会の趣旨との間に、若干の目的のずれが生じてしまい「ビクトリア合唱団」の皆様にはご迷惑をお掛けすることとなってしまいました。

この経験を今後の会の企画に十分活かしていきたいと考えています。



最後に、「お楽しみ抽選会」があり、見事景品を射当てた諸兄・諸姉は、各々欣喜雀躍きんきじやくやくしていらっしゃいました。よかったですね。

皆さんありがとうございました、そしてご苦勞さまでした。

法人事務局 橋本昭一

福祉会店舗コーナー

ベーカリー 『わがんせ』

平成24年からスタートした『わがんせ』は、今年度で7年目を迎えます。現在8名の利用者



さんと職員数名でパンの製造販売を行っています。この7年間は、とにかく地域に『わがんせ』の活動を知っていただくことを目標としていました。福祉会のバザーでアピールしたり、ネット販売をしたり、その結果、多くのお客様に来ていただけるようになりました。販売は店舗にとどまらず、地元の高等学校の昼食時の販売、地元企業の食堂内でも販売もさせていただいております。また「I・愛・逢マーケット」や、チャイプの朝市などにも出店しています。

利用者さんは、毎日25~30種、300個ほどのパンを焼く準備、袋詰め、そして高校、企業への販売を行います。戻ってきたら、トング・トレー・運搬ケースなどの洗浄と片付けなどが仕事です。また、パンを焼く鉄板や、レンジ、そして店舗内の掃除も大切な仕事です。店内には、飲食コーナーもあり、その接客の仕事もします。

『わがんせ』では、たえず新しい種類のパンや、季節限定のパンを用意するようにしています。定番の「あんパン」「クリ



ームパン」、季節ものでは「抹茶パン」「よもぎパン」、成長期の学生さんにはがつつり系の「やきそばパン」「みそかつパン」「ハンバーグパン」が好評です。

たくさんの人に『わがんせ』に来ていただき、おいしいパンを食べて笑顔で帰っていただくことをいつも願っています。

ベーカリー『わがんせ』担当 松山幸子

園芸センター『さいた』

園芸センター『さいた』は平成20年に檜の木園から現在の一宮市西五城に移転し、今年で11年目を迎えました。



(さいた育成場)

『さいた』は、「ステップ」という就労支援事業所に所属する就労継続B型の利用者さん8名の方と職員数名で運営しています。アットホームな雰囲気とチームワークを大切にしながら花苗の製造販売を中心に活動しています。園芸作業が少ない農閑期などは、内職作業や施設外就労なども行っています。利用者さんには、ポットの土入れ、植え替え、肥料置きなど色々な作業に挑戦していただき、スキルアップが出来るように工夫しています。またお客様の販売から接客まで積極的に行っていただいております。

ここ数年は花苗販売の需要も増え、売り上げも右肩上がりに伸びてきています。特に「I・愛・逢マーケット」では2日間で1,000ポット以上の苗が売れることもあります。花苗だけではなく、需要のある野菜苗などの販売も行っています。

最近「さいたオリジナル寄せ植え」が人気で、季節を感じられること、お手ごろ価格ということで好評いただいています。その他に一般家庭から除草作業や花壇への植栽作業などの依頼も多数いただいています。3年前から行っている、年2回(6月・12月)の「さいたバザー」では、多数の方がお見えになり、花苗販売だけではなく、利用者さんとのふれあいの場ともなっています。

これからも利用者さんが、日々楽しく、やりがいを感じられるように、利用者さんと職員が丸となりより良い店舗作りを行っていきたいと思います。

園芸センター『さいた』 水谷泰成

『Cafe ふらっと』

『Cafe ふらっと』は萩原にある喫茶店で、檜の木福祉会の店舗、1号店としてオープンしました。

“ふらっと”、誰もが気軽に、気兼ねすることなく、障害があるなし関わらず、平坦な気持ちで立ち寄れる場所をテーマとして。それから様々な方のご支援、ご協力により平成30年4月に10周年を迎えました。



おかげさまで10周年！

周年記念を皮切りに、この一年いくつかのイベントを実施しました。「折り紙教室」「ジャンボフラワー教室」を行い、教室には多くの方が見え、交流しながら、一緒にものづくりを楽しみ、お茶を楽しむ光景がありました。



(折り紙教室の様子)

参加者に話を伺う機会がありましたが、「様々な人と交流することが楽しい」「ものづくりは楽しい」といった声が多く聞かれました。今後ともお客様の声に耳を傾けながら、居心地が良いお店作りをしていきたいと思えます。

現在、『Cafe ふらっと』では2名の利用者の方が働いています。両名ともオープン時から見えるスタッフです。それぞれの得意分野もあり、職員顔負けです。新しく職員が入った際には、様々なことを教えてください。2人を目当てにご来店される方も見え、接客や会話を通じ、お客様を笑顔にする力！これはとても真似ができません。ここで働く利用者、職員、そしてご来店いただくお客様、皆様にとって笑顔が溢れる場所になるように努力をしていきます。是非「ふらっと」、お立ち寄りください！

『Cafe ふらっと』 加藤栄治

『おやまのカフェ』

『おやまのカフェ』は療育サポートプラザ『チャイプ』に併設された就労継続B型の店舗です。小さなお子様連れでも気兼ねなくゆっくり過ごせる居心地の良い店舗運営に心がけています。また、地域と共に生きる、開かれた福祉サービス事業所として、福祉会の紹介や事業所の説明などお客様に見ていただけるように店内掲示や装飾の工夫に心がけています。いきいきと働く利用者の方の様子や活躍も商品のアピールとともに紹介しています。



お客様に興味を持っていただけるように新商品や季節商品などにも力を入れています。



ダブルクリームホップオーバー

地域の中で福祉サービス事業所があることを理解していただき、いろんな人が集える場所になることを願いつつ運営しています。是非お立ち寄りください。



かしの木サポートプラザ 山田真

かしの木の会 学習会

「親心の記録について」

子どもがいる人なら、ましてその子に障がいがあるなら、常に頭の片隅に将来に対する不安があるのではないのでしょうか。

昨年11月27日、一宮市尾西生涯学習センターにて、榎の木福祉会 かしの木の里管理者 野崎貴詞氏を講師にお迎えし、「親心の記録」～わが子がより良い人生を送れるように～と題し、榎の木福祉会と共同開催の学習会が行われました。(参加者 58名)



書類や手帳の保管場所、親の思いなど、残してほしい事柄を言われたあとに、“家族の写真、子どもの頃の写真”も一緒に受け取りたいとお言葉に涙腺崩壊・・・もう大号泣でした。



どんな子ども時代を過ごし、どんな思い出を持って成長したのか、その過程をも共有してゆきたいと思って下さるお気持ちが嬉しくて・・・嬉しくて・・・。

いつの日か訪れる別れの日まで、子どもを愛し抜こう！！と心に誓いました。
ですが、現実には、厳しい！？かな・・・(笑)

研修委員会 安藤志乃

時代と共に変わる障がいがある人を取り巻く環境。特にお金に関して、暮らし方については、親なき後の生活において、最重要課題と思われまます。プロジェクターを使ってのお話しは、グループホームで生活した場合・持ち家で一人で生活した場合と、具体的に金額の例を出して下さり、イメージを膨らませることができました。また、扶養共済制度、特定贈与信託など、お金の残し方のお話もありました。そして、その先にある『本人の意思の大切さ』を話され、これこそ今、親として日頃から、本人が選択できるような環境を整えておかななくては！と強く感じるところでした。

親からの要望を支援者の方は、聞いて下さいます。せつかく親心の記録を残すにあたり、逆に何をお伝えすれば、わが子の支援がスムーズに進むのか、お聞きしたいと思っていました。

お知らせコーナー

□かしの木の会総会

5/11(土) 10:00～尾西グリーンプラザ

□かしのき運動会

5/26(日) 10:00～富田山グラウンド

□かしの木音楽会

6/2(日) 13:30～尾西グリーンプラザ

□そうぞうのとびら展

～かしの木の里・絵画クラブ作品展～

6/19(水)～6/23(日) 三岸節子記念美術館